

科目ナンバリング		U-LAS70 10001 SJ50					
授業科目名 <英訳>	ILASセミナー：デジタルアート ILAS Seminar : Digital Art			担当者所属 職名・氏名	防災研究所 特定教授 土佐 尚子		
群	少人数群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	ゼミナール(対面授業科目)
開講年度・ 開講期	2024・前期	受講定員 (1回生定員)	15 (15) 人	配当学年	主として1回生	対象学生	全学向
曜時限	木5	教室	坂記念館(本部構内)			使用言語	日本語
キーワード	科学 / アート / ファッション / 文化						
[授業の概要・目的]							
アートとサイエンスの関係を考える。 その中でも、サイエンスの要素を使ったアートを考え、そのしくみ(構造)を設計し、日本の美の特徴を使ったデジタルアートを制作する。							
[到達目標]							
この科目の履修により美とは何かを考え、デジタルメディアを使って、新しい美の創造を行う為の考え方や技能などを修得できる。							
[授業計画と内容]							
1)サイエンスアートの歴史を学ぶ 2)デジタルアートの歴史のを学ぶ 3)インスピレーションを共有する 4)システムの設計 5)アートの力を研究する 6)日本美とは何か 7)デジタルアート制作 8)講評 フィードバックを含めた全15回の授業を行う。							
[履修要件]							
マイクロソフトのワードやパワーポイントが使える程度のコンピュータの操作が好きであること 科学とアートに関心があること							
[成績評価の方法・観点]							
平常点、作品制作							
----- ILASセミナー：デジタルアート(2)へ続く↓↓↓ -----							

ILASセミナー：デジタルアート(2)

[教科書]

土佐尚子 『カルチュラルコンピューティング』（NTT 出版）

（関連URL）

<https://tosa.dpri.kyoto-u.ac.jp/>

[授業外学修（予習・復習）等]

週 2 時間程度の課題

[その他（オフィスアワー等）]

事前にメールで連絡をして、アポイントメントを取ること